毎日を笑顔で過ごせるように願いを込めて……　2026年10月号

竹村石材新聞



少しずつ秋も深まってまいりました。いかがお過ごしでしょうか。高校2年生の三男が突然、「夏休みに名古屋で開催されるコンサートに一人で行ってくる」と言い出しました。「行きたい」という希望ではなく、「行ってくる」とハッキリした意思表示に妻は困惑してしまいました。そこで私は「行ってもいいけど、母親と一緒で」「電車や宿泊先の手配は母親に頼らず、自分でするように」との条件でOKを出しました。正直大丈夫か不安でしたが、妻の話によるとスマホの地図機能などを駆使して、けっこう頼もしかったそうです。お目当てのコンサートの翌日は、名古屋城や熱田神宮に行ってきたそうで、妻は三男とのデートを満喫できたと大喜びでした。末っ子の成長が感じられる出来事でした。



竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒

石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名をご記入のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp

知っていますか？ 10月の記念日

●10月21日は「早稲田大学開校記念日」です

現在の早稲田大学の前身である「東京専門学校」が、1882年（明治15年）のこの日に政治家大隈重信によって設立されました。設立から20年後には、現在の「早稲田大学」へと改称されています。大正時代に入ると大学令に基づく大学となり、慶應義塾大学とともに日本で最初の私立大学となりました。



■発行者　：竹村石材株式会社
脇　田　　大　（わきだ　まさる）

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。


竹村公伸


脇田　大

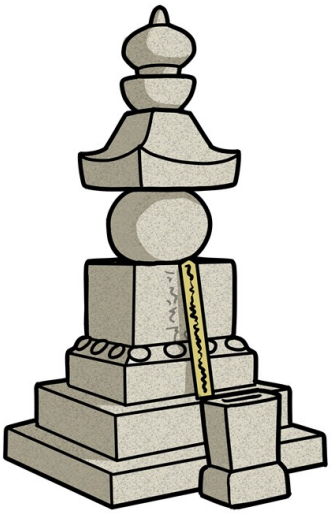

竹村元成

竹村石材株式会社
TEL：076-241-0325
石川県金沢市寺町５－２－３８

※仏事クイズの答え：③　　※まちがいさがしの答え：1）女性の襟元の形　2）親鹿の角　3）カメラのレンズ

～お墓・仏事のミニ知識～

兄 秀吉を支え続けた名補佐役が眠る「大納言塚」



大河ドラマ「豊臣兄弟」で注目を集めている豊臣秀長は、豊臣秀吉の実弟として天下人である兄を陰から支え、政務や諸大名との調整役として力を発揮しました。その秀長のお墓として知られているのが、奈良県大和郡山市にある大納言塚です。病のため52歳で亡くなった秀長は、当初は居城の大和郡山城近くに葬られましたが、その後墓所が荒廃。江戸時代中期に地元の人々の協力によって五輪塔が再建され、現在の大納言塚となりました。今日の大和郡山の礎を築いた、名君としても知られる秀長。大納言塚は、秀長が今なお多くの人に敬愛されていることが感じられる場所でもあります。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや
言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q インドの世界遺産タージ・マハルは、時の皇帝が亡き妻のお墓として作ったとされています。建築上、どのような特徴を持っているでしょうか？

① 5階建てである

② すべてコンクリートで作られている

③ 完全な左右対称である

ヒント 唯一、棺を安置している場所だけがこれに当てはまらないとされています。

まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。